

今年の 5/3(金)憲法記念日は…

講演会 & パレード

二本立て

◆今年の 5 月 3 日は 77 回目の憲法記念日です。これまで何度も日本国憲法は危機を乗り越えてきましたが、今まさに最大の正念場に差し掛かっています。一つは、衆参の憲法審査会で議員任期延長の改憲案が条文化されようとしていることです。改憲派の足並みはそろっています。改憲案の国会発議に向けた動きが始まろうとしています。二つ目は、2022 年 12/16 に改訂された安保三文書を実質化する施策が広範に着実に進められています。なかでも、沖縄本島から南へ延びる先島諸島には、敵基地攻撃能力を備えた長射程ミサイル基地が作られ、いざという時の住民の避難計画さえ検討され始めています。沖縄は二度目の”戦場”とされるのでしょうか。

◆このような状況を踏まえて、今年の憲法集会は前半を講演会、後半を市内パレードの二本立て構成としました。講演会の講師に加藤好一先生をお願いし、沖縄の今を語っていただきます。会場は松川公園に隣接した「伊東ふれあいセンター」3 階ホール、13:00 開場です。講演会終了後、15:00 から松川公園を出発してパレードを行います。市民に「憲法変えるな、政治を変えよう」と訴えます。

5 月 3 日の憲法記念日を来年も、再来年も迎えられるように、皆さん、力一杯声をあげましょう。加藤先生から頂いた一文を下に掲載して、参加の呼びかけに代えます。

“有事”にゆれる沖縄の今と私たち

加藤好一

「自衛隊員の子が増えたよ～。どんな平和教育ができるかねえ～」 宮古島の教頭 A さんの声は、電話口で少しゆれていた。中国本土を攻撃できるミサイル中隊 700 人が島に配備、家族と併せて千名を越えたのである。教育や選挙・生活に、それがどんな影響を与えるか。今、島は変わりつつあると実感した。

では、政府は何を想定して沖縄の島々の基地化と部隊の増強を図るのか。その先に、GDP 4 倍・軍事費 5 倍・日本との貿易額 No.1 の大国と“有事”を構えれば国の未来が開けるのか。それは過去の日本が歩んだ道ではなかったか。

島々の今を知り、沖縄の声を聴き、私たちにできることは何かを共に考えたい。



ミサイルは車両で島中を移動。攻撃されれば島中が火の海。

三上智恵監督

『戦雲(いくさふむ)』の上映開始



三上さんと島袋文子さん

◆「戦場ぬ止み」や「沖縄スパイ戦史」など、沖縄の過去と今を映像化してきた三上智恵監督の最新作、「戦雲(いくさふむ)」が完成し、劇場公開が始まりました。「本作は2015年から8年かけ沖縄・南西諸島をめぐる取材を続けてきた映画監督でジャーナリストの三上智恵による渾身の最新レポートである」と紹介されています、三上さんは、「今からでも遅くはない。共に目撃者になり、今という歴史を背負う当事者になってほしい」と訴えています。

◆『週刊金曜日』の24.3.8号に三上監督へのインタビュー記事が掲載されています。一部紹介します。

Q：南西諸島文島のミサイル要塞化については、まだよく知らない人が多いのでは？

三上： 先ず、全体的に報道がダメになりましたね。テレビはほとんど取り上げない。取り上げても、「与那国島は台湾から110キロメートルと近いところから」ところから始める。この刷り込みはいいかげんやめてほしい。近いから被害を受けるというのは、論理的に成立しません。南西諸島にどんどんミサイル基地を置くから標的にされるのであって、何も無い島々を中国が攻撃するはずがない。




中国の一方的な台湾侵攻も考えられません。アメリカが対中国戦略として"台湾有事"という言葉で日本を揺さぶり、日本を戦わせようとしているだけです。それを受けて、日本政府は防衛費を増やしていく。台湾有事という幻想のせいで、先島諸島の人たちが恐れさせられ、未来を奪われるのではないかと心配させられる。そのことに報道は責任を負わないといけな。そこで、一番頑張れるのがドキュメンタリーなのではないか、と私は思っているのです。



Q：(島の人や配属された自衛隊員とその家族の)命を軽んじられている状況を変えていくには？

三上：これは沖縄ではなく、日本全体が起こしている問題なんです、全国の人がそれに気づかない限り、この構造は崩れない。被害を受け、これまでの生活と未来を奪われる側から見ると、日本政府の意図や日本国民の無作為が手に取るように見えます。誰かが伝えないと、全国の人にはわからない。だから2時間でわかるような形にしています。

◆静岡では静岡市の「シネ・ギャラリー」で4/5より上映されます。料金などの詳細は公式HPをご覧ください。伊東では、10月12日「ひぐらし会館」で自主上映会を開きます。追って連絡します。

<p>シネ・ギャラリー上映情報】 4/5(金)より公開 4/13(土) 監督舞台挨拶決定!</p>	<p>上映時間・料金などの 詳細は公式HPまたは LINE登録してください。</p>  <p>自由席・定員・入替制</p>	 <p>静岡駅</p>	 <p>Cine Gallery TEL:054-250-0283</p>
--	--	--	--

3月の街頭宣伝活動

3/6 湯ノ花通りの宣伝活動



3月6日は小雨がパラつき、風も強くて冬にもどったような寒さでした。湯ノ花通りの人出も少なめでした。14:00から、核兵器禁止の訴えと署名、あわせて平和憲法擁護の署名活動を行いました。参加者は7名でした。マイクを握った伊藤廣光さんは、1954年ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験によって焼津のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員らが被爆したことに抗議して国民的な核実験反対運動が巻き起こり今年70周年の3.1ビキニデーとなったことに触れ、今なお、核による脅しが抑止力の名によって正当化されている国際政治の状況と、核兵器禁止条約に背を向ける日本政府を告発しました。40分間の宣伝活動の間、ビラを受け取る人、「寒いのにご苦労様」と言いながら憲法署名してくれる人が何人かいました。先月雨天でできなかったので、今月無事にできて良かったです。

3/9 伊豆高原「伊豆オルゴール館」隣で宣伝活動

今日9日は打って変わって日射しのぬくもりを感じさせる春の陽気でした。「伊豆高原9条の会」は毎月9日にR135沿いの「オルゴール館」脇で、「戦争反対」「9条擁護」の宣伝活動を行っています。幟を立て、ボードを掲げ、ドライバーと通行人に訴えています。11時から宣伝活動に7人が参加しました。伊藤廣光さんは、政府が進める軍備拡張政策が「戦争できる」国づくりであり、軍拡競争が戦争のリスクを高めるものだと批判します。そしてアセアンの外交による紛争解決の積み重ねこそが、9条を持つ日本の進むべき道である、と力説されました。信号待ちのアベックに田中秀幸さんが「どこに行くの?」と声を掛けました。女性「大室山へ行くの」、田中「それなら、その信号を左折するといい」、女性「ありがとうございます。頑張ってください」—こんなやり取りもありました。



3/19 観光会館前でのスタンディング

今日は冬に逆戻りしたような寒い日でした。2時前から「寒いね~」と言いながら、皆さん観光会館前に集まってきました。全部で22~3名。今月の担当は新婦人の会で、

婦人の参加者が多かったようです。全員で「青い空は」と「幸せはおいらの願い」を歌ってスタート。スピーチのトップは新婦人の加藤さん。初めて参加された方ではないでしょうか。武器輸出を拡大し殺傷



兵器まで解禁されることを批判し、能登半島沖地震



で原発災害の危険があったことを知って怖かった、と話されました。齊藤昭夫さんは3.1ビキニデーに触れ、久保山愛吉さんの遺言を紹介しつつ、核兵器をなくす運動の重要性を訴えました。富岡幸子さんは幼いころ母子で逃げ惑った空襲体験の恐怖から、「戦争だけは絶対してはならない」という思いを強く持ってきたと話され、戦争に突き進むもうとしている今こそ、子どもや孫を守るために戦



争反対声をあげましょう、と切実な訴えをされました。三好は軍備拡張による戦争抑止論は必ず破綻すること、想定敵国の不信と警戒心を取り除く対話と安心供与が必要であり、憲法 9 条にまさる安心・安

全供与はないと主張しました。最後は竹平さんと稲葉さんの音頭で、「戦争する国反対、憲法変える政治家いらない」とコールして終わりました。

【4月にはこんな活動もあります】

4月11日(木) 13:30~ 大人の学習会、スタート

- ①ところ：荻の竹平浩二さんのお宅(38-0343) (荻緑町バス停近く、10台駐車可能)
- ②レポーター：加藤好一さん
- ③テーマ：能登地震、地震列島に住む私たち、他人ごとではない生活破壊
- ④参加費：200円

4月13日(土) 13:30~15:30 愛のモニュメント 平和のつどい

- ①小室山 愛のモニュメント広場 (雨天の時は小室コミセン)
- ②プログラム
 - ・重岡建治さんのお話し
 - ・モニュメント建立関係者の話
 - ・みんなで歌いましょう(ピースソングなど)
 - ・ピースウォーキング
- ③連絡先…37-6205 (齊藤)

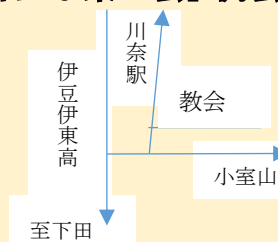
※注意…車で来られる方は、当日つつじ祭りのため表示や係員の指示にしたがって駐車してください。



4月23日(火) 10:00~「川奈・吉田9条の会」例会

- ①川奈聖書教会 (2階)
- ②レポーター：山口光仕牧師
- ③テーマ：パレスチナ問題の過去と現在
- ④連絡先：45-1182 (三好)

※どなたでも参加できます。



9条の会・伊東より
5月3日、意見広告カンパ協力をお願い



今年も5月3日の憲法記念日に合わせ、静岡県内の9条の会と共同して朝日新聞(静岡版全面15段)への意見広告運動に取り組みます。「戦争する国絶対反対」の世論拡大のため、多くの方の賛同をお願いいたします。期限は4月14日までです。詳細は別添の「お願い」をご覧ください。メール会員で賛同いただける方は、事務局(梶野・37-9134)へご連絡下さい。